

若狭ネット

第124号 2010年 5月15日

発行：若狭連帯行動ネットワーク

代表連絡先●福井：「止めなくちゃ！」

げんぱつ」連絡会（〒915-0235 越前市不老町6-36 山崎方 TEL0778-42-3630）●大阪：日高原発に反対する大阪の会（〒583-0007 藤井寺市林5-8-20-401 久保方 TEL/FAX 0729-39-5660）

ホームページ <http://www4.ocn.ne.jp/~wakasant/> E-mail : wakasa@gaea.ocn.ne.jp

もんじゅ運転再開に抗議！ 廃炉に 関電は、プルサーマル計画を止めよ！ 美浜原発を廃炉にせよ！

APEC(アジア太平洋経済協力)のエネルギー担当大臣会合が、6月19、20日と福井市で開かれます。省エネルギー政策や温暖化防止対策が話し合わせ、エネルギー関連施設へのツアーも予定されています。

APECは、アジア7カ国(インドネシア、ベトナム、マレーシアなど)、韓国、中国、メキシコ、アメリカ、ロシアなどの21カ国のメンバーからなります。

原発をアジア諸国に売り込もうとし、日本政府も乗り出しています。その中で福井市で会合が開かれようとしているのです。

私たちは原発反対をアピールするため、次の集会を予定しました。福井市であつまるのは、久しぶりとなりました。多くの参加を呼びかけます。

脱原発へチェンジ アンド 脱原発のためのアクション

6月20日(日) 午後1時～4時

座談会「40年たっても原発で地域振興？」

原発なき明日を見通して！」

APEC視点「国家破綻と核拡散の危険に満ちた

アジア・中東での原発取り引き」

お話 長沢啓行(大阪府立大学名誉教授)

場 所： 東本願寺福井別院
(福井市花月1丁目2-36 0776-21-4100)

交 通： JR北陸線「福井駅」下車し、
福井鉄道に乗り換え、
「市役所前」下車し、西へ800m

終了後に、福井駅までデモ(約20分)、
デモ中および福井駅でピラマキ・横断幕アピールが
できればと考えています。



マルに、反対の声を広げていきたいものです。

もんじゅ再開に抗議！

もんじゅを動かせば、大事故が……

動かしてはならない「もんじゅ」が、5月8日に臨界に達したその矢先に一次系ナトリウムの温度が上昇を続け警報が作動したと報道されました。ガス検知管の警報が六回鳴り続けたと立て続けに警鐘を打ち鳴らしています。これは、ナトリウム火災事故で14年も運転停止をしていたもんじゅを再開する無謀な運転に「もんじゅ自ら」が抗議しているかのようです。直ちに運転を停止しなければ重大事故が起こってからでは遅すぎるのです。

敦賀半島には、美浜1, 2, 3号、もんじゅ、敦賀1, 2号と原発が林立していますが、この周辺には活断層が走り、大きな地震をもたらすのに、なぜか原子力施設には小さな地震動しか襲わないという評価をしているのです。

福井県知事は、もんじゅを再開承認を取引に、北陸新幹線の南進計画早期建設など国に要請しました。もんじゅの動きの節目ごとに地域振興の支援を状況を確認すると脅しをかけています。地域進捗ともんじゅを天秤にかけて、国から金をむしり取ろうとする腐朽の構えに怖ろしさを感じさせます。

関電プルサーマルで、MOX燃料加工に問題あり

私たちは、この間 MOX燃料の問題で関電交渉を粘り強く行いました。

関電は、フランスのメロックス社にMOX燃料加工契約をしましたが、MOX燃料16体中4体も不採用にしなければならぬほど、製造の不安定さが明らかとなりました。MOX燃料製造工程の不安定さは、原材料の品質がバラバラなために起こっているようです。MOX燃料を安定的に製造するのが非常に難しいのです。関電が、企業秘密として大事なところを公表しないのは、この根本的な問題が潜んでいるように思えたりません。

関電が自主検査について「より高い品質を確保するため自主検査を行っている」というのはウソで、自主検査をしても4分の1は不良品となってしまうことが問題なのです。製造品の4分の1がダメとなる質の悪い燃料工場が、原発施設の中核をになう核燃料をつくっているのです。

これでは、原発重大事故が起こるのではないかと、危惧します。

燃料費が高かつき、危険がますます増大するプルサー

私たちは、原発の持つ問題点を再度訴えます。

美浜原発、敦賀原発などで、寿命延長を行い、しかも出力を上げ、長期連続運転などをもくろんでいます。原発の重大事故の危険性を高めています。

事故や定期点検などで、労働者ヒバクを容認し、犠牲を強いている問題をはじめ、原発が運転される限り、いつなんどきヒバクさせられるかという不安な中での生活を強いられている問題や、使い終えた「核のゴミ」を安全に処理できない問題など解決できないままになっているのです。

原発からでるプルトニウムをエネルギーにしようと考えてきた高速増殖炉開発も破綻し、原発・核燃料サイクル政策からの撤退が求められています。しかし、よその国に原発輸出を国あげて取り組もうとする危険な動きも出てきています。

夢も希望もない原子力開発をやめ、再生可能エネルギー開発に全力を挙げるべき！

CO2を減らす、脱原発を進めるためには、循環型社会構造を作りあげねばなりません。大量生産、大量消費、大量の使い捨てに社会にピリオドをうたねばなりません。

私たちは、福井県で核汚染の写真展を持ち、原発の危険性を広く訴えたいと考えています。6月20日には福井で集会を持ちます。ご参加をお願いします。

【写真展の内容】

- ・ ウラン鉱山、英・仏の再処理工場、被曝労働など被曝と汚染の問題。
- ・ 関電と関連が深いオーストラリアの「ジャピルカのウラン鉱山」(伊藤孝司さん)、
- ・ 「インドのジャドゴダ鉱山の深刻な汚染被害」(森住卓さん)等の写真、
- ・ チェルノブイリの写真、
- ・ その他
アメリカ・カナダの鉱山や英・仏の再処理工場などについての新聞記事など

「福井で核汚染の写真展開催」

「世界の核被害」写真展
5月25日(火)～30日(日) 午前9時～

「世界のヒバクシャ」講演会
5月29日(土) 午後2時～4時
振津かつみ先生
場 所： 福井市のアオッサ ギャラリー
(JR「福井」駅下車 徒歩1分)



「世界の核被害」写真展
6月1日(火)～6月9日(水)
午前10時～

- 場 所： 越前市市立図書館
- ・ JR北陸線「武生」駅で下車
 - ・ 北陸自動車道「武生インターチェンジ」から15分
越前市高瀬2丁目7-24 電話:0778-22-0354

2010年4月18日 **ムダ、ムリ、無謀のもんじゅ再開反対！**

集会に参加し、みんなで抗議をする

午後1時になると、続々と白木浜に人々が集まってきた。500名にも及ぶ。

福井を始め北信越、関西、原水禁中央と。浜の集会場の中央には、「ムダ、ムリ、無謀のもんじゅ再開反対！」の横断幕が貼られている。

集会に先立ち、ストップザもんじゅの人たちが、風船を飛ばす。集会は、原水禁の事務局長、平和フォーラム地元代表、福井県民会議の小木曾さん、小林圭二さんのあいさつが続く。

もんじゅは、いよいよこの5月にも運転再開されようとしていること、しかし実情は、運転再開などできる状況でないこと、特に安全管理体制はずさんで、15年前にナトリウム事故を起こした「動燃」の体質と何ら変わっていないこと、建設当初「ない」としてきた活断層の存在を認めたが、耐震評価については住民に答えていないこと、このままでは、必ず事故が起こることなどが力強く訴えられた。そして、もんじゅを廃炉にするためにもこの闘いを続けていくことがさらに重要になっていることを確認しあった。



青森からの代表は、再処理工場反対ともんじゅの闘いを連携して取り組むこと、ガラス固化の問題が大きいのしかかり再処理工場はストップしていることなどが報告された。非常に力のこもった情熱のあふれた報告だった。

集会後、あらん限りの声を張り上げ、もんじゅのゲート前まで行進し、抗議文を手渡した。

今後の予定

上関原発反対連続学習会

5月16日（日）午後2時～5時

「中国地方の原発スキャンダル、いま上関は
木原 省治（原発はごめんだヒロシマ市民の会）」

場 所： 苅田土地改良記念会館 （地下鉄御堂筋線我孫子駅下車 徒歩7分）

5月30日（日）午後2時～5時

「生物多様性の宝庫、上関の自然を守ろう」

高島 美登里（長島の自然を守る会）

場 所 ドーンセンター

（地下鉄谷町線「天満橋」駅下車 徒歩7分）

共 催： 地球救出アクション97と、若狭連帯行動ネットワーク



「福井で核汚染の写真展開催」

「世界の核被害」写真展 5月25日(火)～5月30日(日) 午前9時から

「世界のヒバクシャ」講演会 5月29日(土) 午後2時～4時

振津かつみ先生

場 所： 福井市のアオッサ ギャラリー

「世界の核被害」写真展 6月1日(火)～6月9日(水) 午前10時から

場 所： 越前市立中央図書館

◇◆◆◆◆ 「編集後記」 ◇◆◆◆◆

- ・ 4月26日 チェルノブイリ原発事故から24年。核の被害は、核兵器開発だけでなく原発でもヒバクシャを生み出すことを教えてくださいました。しかし、原子力開発を進めてきた企業は、自らの存続を架け企業を合併したり、技術提携をしたりして、原発建設を拡大しようと躍起となっています。最近の象徴的なことは、原発輸出で国をあげて各国しのぎをけずっているという事実です。過去の帝国主義間の戦争が「原発推進」でまた繰り返すのかと、思うと愚かしさを見る思いで、ぞっとしています。
- ・ 5月6日 「もんじゅ」が動きました。その深夜から翌日午前にかけてガス検知器の警報が6回鳴ったと、原子力開発機構は報道各社や自治体に伝えました。「少々のことで運転を止めるな！」と指導する国の安全委員会のいうとおり、止めずに動かし続けています。本当に怖いことです。 きよ子

◇◆◆◆◆